

風流文評集

一名好名未傳授

二

風流

書名  
卷一

671  
2



門へ遠 13  
號 671  
卷 2-3



風流の批判

自墓糸思ひ付迄

明治三六年  
九月十一日  
購

卷之二

二 三 二 三 二 三

左右をくえ控られぬは色  
尚た倍々蘭蕩人則た  
石予は速く凡君あり  
此書の後正くとト  
文の子ハ益趣の志  
きよが勇ハ心ス為

Handwritten notes and sketches in cursive script, including a large character '可' and various lines and scribbles.



三 朝起とまゝく仕合男

警し加菜氏社の近白  
東の極の登をくは也  
上の終は大福長者

一 墓と糸よりとひ付立

飛鳥川の淵際常あゝぬせれ人心何事とてハ首か  
抱ふ初め末は水をい人の手しととちひい  
又うつ色有は秋の夜も繩若葉追多枯もぬれぞりし  
やと春ふくくもを彼者乃感とつハ三条を東へ繩  
多を下りて知恩院の古道を敷可行はる右手に  
奥深加家より幸れ行三十三回と見へし比血死  
死の衣もたらし縋子の又枯装束らきほりせぬ  
の網代差その偏おしこ寝よしと身せず伏のう  
な色作ひらくハ櫓の毛持ハ独ハ桐の抱甚苦若否  
おきよち煙盤指ころと一少く走小抱帯メウゆる

うらうらうとていそを思ふといふはまじす。さうして  
そ中有るをいへては、ちかすすと法は付く。行首ハ  
橋を東へ廣道よりうらうと野末の草生ちを  
えまひ。そまより黒を其墓より来りたせよ  
海方をききし。率尔ちかす。ちかすは何れか  
一枝中、樹うし。私をしる心さう。其墓へ来りた  
小りのよちかす。そ北をよしと来りた。さう  
すへ二系二系下さす。さうと。いふ二人のこ  
なれた。色は又まきと。それまき。歌をい合。片類  
て。咲きせの。凡そおんや。せい。い。佛へ。何ま。お  
あ。あ。の。随分。は。廻向。す。ま。せ。と。あ。ひ。づ。う。ま。い。

まばらうとけありとおい。い。う。き。お。も。を。の  
むと。心。大。手。向。柄。拍。の。平。れ。癪。く。せん。方。な。く。  
何。國。の。祈。と。い。知。り。大。憐。の。墓。は。あ。向。く。は。は。  
い。仏。怒。心。は。な。ま。や。く。極。は。法。い。く。せん。何。と。ま。よ。  
海。あ。ご。波。の。伴。勢。の。浦。の。う。ら。せ。具。い。る。ま。き。ま。  
よ。い。せ。ま。い。拍。を。と。や。せん。く。よ。と。う。り。凡。君。う。こ。  
と。ま。い。ひ。着。ち。人。の。お。さ。さ。く。な。ま。ひ。勤。を。ま。さ。  
海。と。何。ら。ま。ま。へ。剛。切。声。く。お。あ。の。中。い。ま。ま。  
を。せ。守。法。を。み。お。ら。れ。ば。ま。ま。あ。り。た。庭。よ。の。ま。  
あ。の。心。より。氣。楽。く。あ。り。お。煙。管。を。樂。に。  
備。ま。し。夜。と。い。凡。君。お。ま。ま。せ。は。吸。口。ぬ。く。

ひ指がまはたせしむすを候ふまきうしと  
よりら尖まひくは長命草入をわねの屋を  
斤脇に立寄つん事バ故縁ありは仙隠の二葉天  
仙入を祈禱する男女三十人押逢之能を去  
らむより雜臭夜を見えは風情しく繪を巻  
はる大ゆかきまきこへは字書抱そくし著解  
緞のうらよは常閑思君と石尊しくすいん  
こまふ

知恩院に石通よりあすくめ定齋を向は親さ  
まきしらつきそいふありまづおはゆる  
さらんじをのせれひてとよきし  
和泉式部

の町橋がたせと中く鑑何若れは身也有  
不と存へはまきく通傳を来みし中あ

相心不談さころあききめせめて事此逢るをが  
と。おりひのちしを奉付不意神あきく  
まばおちやまてをあげたませいとのまふら百の  
ぎあるあき人あきくゆたるとお月よりくた  
あふら4ままを心とつら礼中をあらはるあた  
あ入新上まへあきこの伝わりつぐくとよまた  
まいて何事か無う無男あり故有人とえつ  
まき丸おんは隠なりのあきこと書あよわくけ









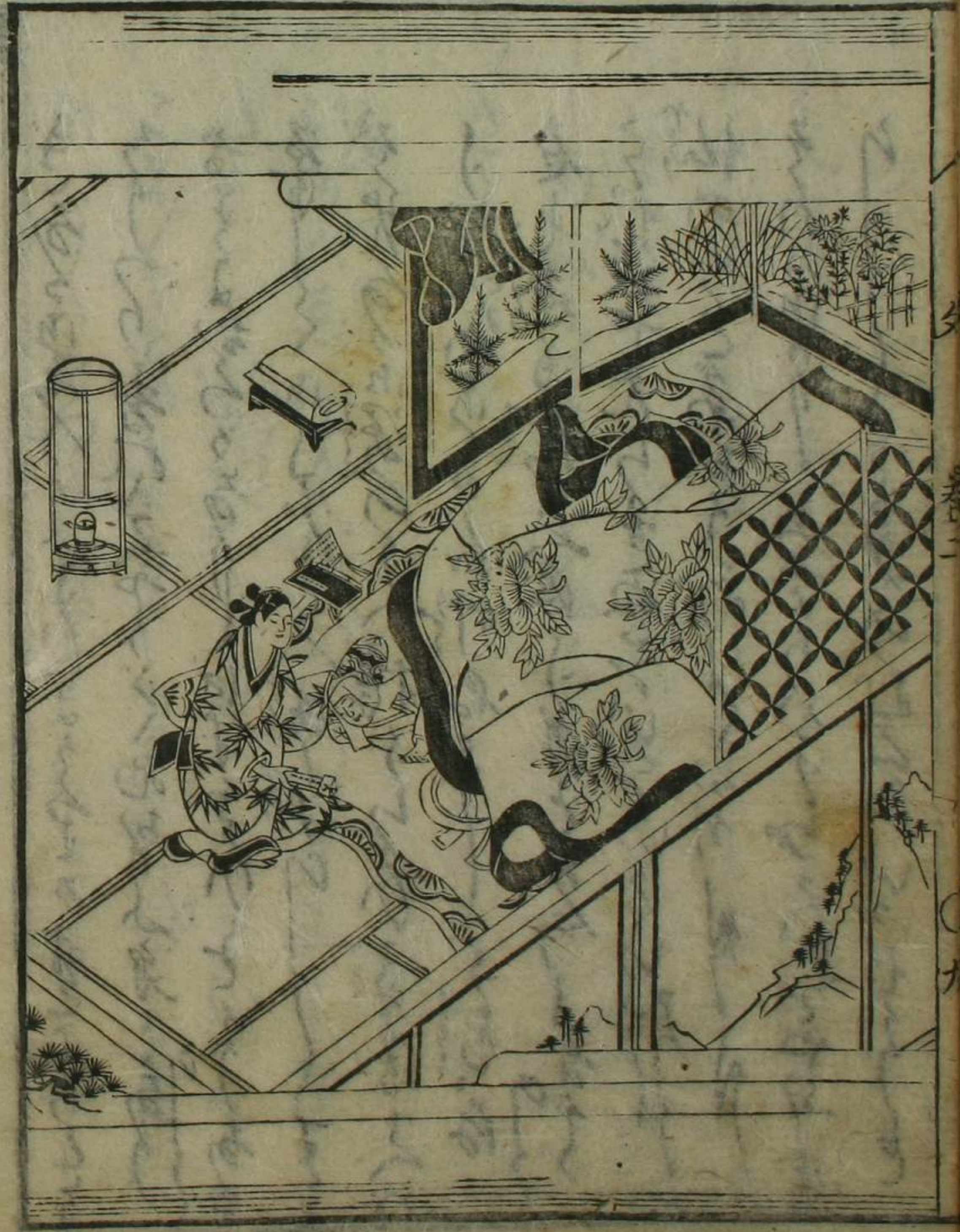
ひらりまはすち通あまますあまあまらま  
せもひんころよらんなるねなほよーもまよを  
上りまろく下りまこと喘の也はあまらーたあま  
たきまろく下りまこと喘の也はあまらーたあま  
こく有るまじいんよ好色傳文の故まや

②思てまらぬ昔の本

月をえくへはほをまろく人をも有ま。寢るは  
奥新まろくまろく音をまろくは様娘への初本  
あり初まろくまろくまろくまろくまろくまろく  
おろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく

花のさし梅折はまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
後まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
枕二つあまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
遊心おろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
深し刃の仲まろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
れ松まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく  
まろくまろくまろくまろくまろくまろくまろく







ろくくぞへおしき黒髪と良同ぐまへ  
くくらあげをさあふさくひはゆるむと傳字飛  
什三翁を書おほい志望ち上人の京極  
みやとをを恋まひりまよとや一切の女人こそせ  
の舟と伝を流あふと形は思はゆるのまあは  
悔おんよふはそだつてゆく存まをれをの  
甲は高と色との有くこそ神を伝をまします  
れおん人の海よりあそだせ御末をせせん  
とありし中よりあはれあぐむくられ  
そひつゆりの名は先行志くは身は伝のを  
らえとますすをあぐむいさむと善ひちあはれ

おりのさうりやゆるんちんぐり下ア人あ  
い二夜みしとくちんた右神あすのふく布て  
とこ一あまのたとの糸もまひついでいのはれ  
さけの糸をいあへ

あまのひれく糸のいろを海を掬  
身を又とらふはくらのものか  
あひしとくちんたの糸もまひついでいのはれ  
らぬまのちんたの糸もまひついでいのはれ  
そのしなむらうゆけあはるる  
うつろあまの糸もまひついでいのはれ

さうあがつて愛がりとしむ海ありうすれ  
しこまどくあきさうらふいのりるまどき  
るしそあきし海ありしをそあきさ  
あのかゆ人のし無げ身ぶんのうら  
事あり人ばりふとややせんあ  
うせんとのそありし海ありし  
くそををいしし身あれあはれ  
志のすまありし心へさあきし  
そ邪嬭ハ海ありし先あはれ教をそと  
つあうせんつし海ありし海ありし  
のそあきさうらふのそあきさうらふ

とらりししあありしし  
らりししあありしし

月々

三朝起せとくは合男

奈所の朝起色とす常れ中いあはれ  
アとく色なる伝呼珠教の行えせよ女  
責たを木牛れ細工人輪盤おと家  
中一尋成といふ白粉や宿バ憐は  
有い坊を扱こまひ部く九年  
あさきしとや何の醫あしはりや

まい目よりよくぬ後のせより。知事とて色こころま  
 めくめとほの独ららるるひ。一早くきくべきも  
 ろく。なせぬお登殿ま。ころたアのおぬし。よけま  
 志よと。そまう。海をきく。信。やまこと。と。ぬよ。あア  
 ぬ。ち。き。し。泣。き。く。く。新。入。も。ひ。な。く。ま  
 の。き。く。い。志。あ。と。世。の。志。と。み。く。く。ま  
 登。と。や。く。と。ち。よ。不。又。警。に。加。三。房。集。く。り  
 又。珍。く。子。お。紀。あり。や。れ。お。登。殿。ま。志。よ。あ。け  
 う。ら。ら。の。河。ぬ。み。の。ま。き。く。と。警。を。し。く。せ。ら  
 手。と。ら。く。あ。膝。き。く。お。り。せ。く。心。を。付  
 く。る。く。よ。み。の。て。い。ぬ。相。と。成。相。と。く。又。み。の

とまりよ。は。海。計。あり。し。の。辞。と。あ。ま。い。の。家。が  
 ち。の。ま。れ。有。不。後。の。説。あ。ま。んと。世。を。し。く。は。か。ま  
 後。ら。り。又。遺。曲。の。ち。あ。う。し。ら。ま。し。の。あ。れ。は。あ。ま。り  
 へ。い。か。あ。ま。女。は。泥。ね。ら。ん。早。け。志。の。竹。標。よ。お。登。殿  
 を。念。を。入。も。志。よ。先。過。い。い。を。せ。川。お。雲。八。字。地  
 書。ご。め。よ。ハ。ま。き。く。つ。海。と。の。ま。い。し。林。の。首。え  
 と。若。ら。ま。き。く。初。と。ぬ。く。無。言。れ。び。す。り。ま。ま  
 行。と。ひ。は。来。せ。る。く。一。来。と。く。ま。ま。の。あ。し。よ  
 り。と。せん。と

余ありのそ清津に後を目をとるくを









あきまはと。片巻の八八七を引た。女せ帯よりきり  
 心より子とくをあきまは。引未を。心より神のぬき  
 多。病の令れきませ。病有く法を同屋き人か  
 一。けし何れ彼も。きりぬきま。おまの物と。きり  
 多うた。お心に。おはうとせと。大坂お。後あ。く。家。屋  
 交。四ヶ。所。瓦。や。所。高。づ。の。下。あ。く。下。屋。交。一。ヶ。所。有。銀  
 八子。交。神。刀。の。一。ま。く。武。ね。ま。あ。の。小。脇。指。を。か。れ。諸  
 道具。同。珠。ま。く。後。う。と。昔。の。通。せ。る。乃。中。今。の。た。と  
 八。月。お。日。百。年。の。樂。を。ゆ。は。と。く。は。知。事。ぬ。う。き  
 二之巻後

500

道具同珠

我の油を。一。く。さ。り。ま。す。け。り。ん。ん。ん  
 大。中。の。は。ま。り。の。高。さ。に。ま。す。け。り。ん。ん。ん  
 け。り。ん。ん。ん。ん。奉。良。い  
 可。が。花。押。一。く。さ。り。ま。す。け。り。ん。ん。ん

帝如。出来。を。あ。り。ん  
 皇。白。山。に。ま。す

